

## 研修テキスト作成にあたり

廃用症候群は、種々の疾病・障害が原因で生じる身体活動性の低下のみならず、心理的な要因、社会・環境的な要因も、その発生に関与します。そしてひとたび廃用を来すと、その改善にはかなりの期間を要し、廃用症候群の悪循環に陥ると、ますます身体活動性の低下を引き起こし、在宅生活に支障を来してしまいます。

そこで、ケアマネジャーの方々に「廃用症候群」に対する理解を深めていただくことを目的に、東京都リハビリテーション協議会研修テキスト検討部会の委員を中心に検討を重ね、今回の研修テキストの刊行に至りました。

構成としては、「廃用症候群」に関して総論的な事項を示した後、具体的な事例を提示し、その中で、各リハビリテーション関連職種（医師、PT、OT、ST、MSW）からのチェックポイント（事例における重要ポイント、患者・家族指導、廃用症候群の悪循環を断ち切るにはどうしたらよいか？等）を挙げ、ケアマネジャーに対して、アセスメントのポイント、環境整備、自立に向けてのリハビリテーションサービス導入のポイント等についてアドバイスを行うような内容となっています。

廃用症候群の原因は多岐にわたりますが、今回は普段よく見られる疾患の廃用例を4例、また廃用予防の観点から生活不活発例を1例、環境要因による廃用例を1例、計6例を提示しました。このテキストが、「廃用症候群」の理解を深めるうえで、少しでもお役に立ち、研修により医療と福祉のより良い連携のきっかけになれば幸いです。

最後に、このテキスト作成に多大なるご協力をいただいた東京都リハビリテーション協議会研修テキスト検討部会の皆様、東京都福祉保健局医療政策部医療政策課の皆様に深謝いたします。

2013年3月

東京都リハビリテーション協議会  
研修テキスト検討部会委員  
平成24年度研修テキスト骨子作成者  
中島 英樹  
(公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院リハビリテーション科医長)